

中田久恵 選 投稿数12首

「でも」だけが今日は言わずにただ聞こう貴女がもつと見えてくるなら 皆野 豊田喜美恵  
 (評) 口語調でリズム感の良い現代短歌である。「貴女がもつと見えてくるなら」と対人関係の難しい昨今、許容とやさしさに溢れた心に感動した秀歌である。民子さん「庭の草花を四季の暦と」と詠まれた非常に端正な表現で喝采。野口さん、なんと幸せなことでしよう。深い絆を篤く感じた。

ひととせを咲き継ぐ庭の草花を四季の暦と思ふ 皆野 新井 民子  
 新井と新婦から受くプレゼント叔母のわたしの誕生日とて 皆野 野口 貞子  
 手料理の酒肴に滋味のしみ入りて吾娘のもてなし満ち足る至福 皆野 新井 愛子  
 連れ合いと苦勞長坂のりこえて月日は早し婚六十年 皆野 新井 茂  
 山間の日暮は早く幸せを寄せ合うように明りが点る 三沢 鈴木 貞恵  
 懸命に長き年月歩み来て今健康を念じつつ生きる 下田野沢 浅見 豊子  
 子ら七人内孫四人育てくれし姑へ感謝の十七回忌 三沢 眞下 杏子  
 秩父溪の空を彩る上げ花火消へたる闇の一人侘し 三沢 新井 叶子  
 「火の用心」声張り上げて村の家子供ら廻る冬の思出 上田野沢 四方田利男  
 スケッチに島波画ける女の目よ覗いてみだし尾道の過去 三沢 新井 弘延  
 菊花展小春日和の車椅子やさしきガイドで夢の一刻 三沢 鈴木 キク

引間豊作 選 投稿数21句

客迎ふくせの指櫛年惜しむ 三沢 新井 民子  
 (評) 十二月も半ばを過ぎて、余目すくなくなった頃の感慨であろうか。商店の歳末の大売出しの賑わいから離れて、ふと我に返った時のおもいでであろう。古くは「冬惜しむ」と同義に用いられたが、現今ではあきらかに生活様式が異なり、年末の挨拶に何う方も迎える方も、平素の生活の延長線上にあり改まった風習とも違う、何気無い草草が自然に表現された生活句になっている。初時雨の句、お子さんの恙に添い寝する母性愛の詩を極自然に詠んだ作品である。

病む吾子と枕ならべて初時雨 皆野 太幡真由美  
 小春日や伸びた庭木を切りもして 三沢 澤野 恒平  
 望の月夕餉の盆にさも似たり 橋に佇ちのぞむ稜線霜の朝  
 下田野沢 引間富美子  
 柚子を添へ温泉宿の手打ちそば 叙勲碑に映えて寄り添う石路の花  
 皆野 根岸 詩子  
 朝刊のずしりと重し年の暮 遠山の紅葉を洗う雨となり  
 下田野沢 江野 鑑子  
 息災こそ子への孝行十二月 幾歳を勤めあぐ友今朝の春  
 金沢 青木富佐子  
 年明くる米寿の道を踏みしめる 浴室に柚子の香の立つ今日の幸  
 皆野 豊田喜美恵  
 皆野 関根 助市


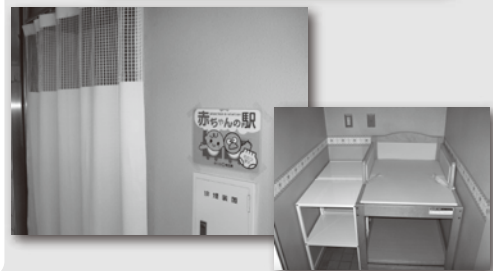
俳句・短歌を募集  
 作品には、ふりがなをつけ、住所・氏名を明記して  
 総務課へお寄せください。  
 1人1句、1首に限ります。  
 8日必着

皆野町役場庁舎・皆野総合センターを「赤ちゃんの駅」に登録しました!!

このステッカーが目印です!!

「赤ちゃんの駅」とは、外出時にオムツ替えや授乳などで立ち寄ることができる施設のことです。設置状況や利用条件などは施設によって異なるため、ご利用の際は各施設の管理者が示す利用条件のもとで、指示に従いご利用ください。

役場庁舎1階ロビーにおむつ交換台を設置しました。

優翔くん

1歳のお誕生日おめでとう!!

下田野区  
 田野 裕貴さん  
 裕美さん

1歳おめでとう!  
 お兄ちゃんと仲よく  
 元気に育ってね!

※満1歳の赤ちゃんを募集します。  
 2月号の締め切りは、1月10日(月)まで。  
 ホームページからも応募できます。

